

令和5年度第2回ならしのこどもを守る地域ネットワーク代表者会議 議事録

1 開催日時	令和6年2月22日（木）13時30分～14時45分
2 開催場所	市庁舎5階 会議室1
3 出席者	【副会長】 菅原優（こども部）（敬称略） 【委員】 渡邊直（中央児童相談所） 杉戸一寿（習志野健康福祉センター） 鈴木愛彦（習志野警察署） 大村直子（習志野市歯科医師会） 飯塚源太（私立幼稚園・認定こども園協会） 荒木尚（千葉県弁護士会） 菊地謙（中核地域生活支援センター） 高橋君枝（民生委員児童委員協議会） 玉井恵枝（千葉人権擁護委員協議会） 竹田佳司（政策経営部） 根本勇一（協働経済部） 小平修（健康福祉部） 島本博幸（学校教育部） 片岡利江（生涯学習部） 蓮一臣 代理：木下初恵（市立小中学校長会） 風見利勝（消防本部） 【欠席】 高橋勝（社会福祉協議会） 前田泰宏（習志野市医師会） 【事務局】 奥井菜摘子（子育て支援課長）二瓶一嗣（同課主査） 江原朋枝（同課主査補）石川由記子（同課主査補） 三橋一輝（同課主任主事）小早川智恵（同課主任主事） 真野愛弓（同課主任主事）
4 議題	開会 第1 会議録の作成等 第2 会議録署名委員の指名 第3 報告 （1）令和5年度相談実施状況について （2）令和5年度実務者会議実施状況について （3）令和5年度ならしのこどもを守る地域ネットワーク取り組みについて 並びに令和6年度の取り組みについて （4）令和6年度ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会（案）について 第4 その他 閉会

5 議事内容	開会 第 1 会議録の作成等 第 2 会議録署名委員の指名 飯塚委員と高橋委員を指名する。 第 3 報告 (1) 令和 5 年度相談業務実施状況について 令和 4 年度、18 歳未満の子供が、親などの保護者から虐待を受けたとして、児童相談所が対応した件数は全国で 21 万 9170 件に上る。(前年比 5.5%増) また、児童虐待の疑いがあるとして、警察が昨年 1 年間に、児童相談所に通告した 18 歳未満の子供は 11 万 2965 人。 以下、本市の虐待相談件数等について資料に沿って報告。 (2) 令和 5 年度実務者会議実施状況 今年度実施した全 6 回の会議について、資料に沿って取り扱い内容を報告。 (3) 令和 5 年度ならしのこどもを守る地域ネットワークの取り組みと令和 6 年度の取り組みについて 資料に沿って報告。 【令和 5 年度の取り組み】 1. 子ども家庭総合支援拠点の強化 ①職員の研修体制の強化 ②定例ケース会議の充実 ③ヤングケアラーに対する支援 ④子育て世帯訪問支援事業の実施 2. 要保護児童対策地域協議会の強化 ①精神科医師相談の実施 ②実務者会議の効率的な運営 3. 児童虐待防止等を推進するための取り組み ①「子育て相談の日事業」の拡充、新たなアウトリーチの開拓 ②対応指針に基づいた取り組み 11 月の児童虐待防止月間の取り組みとして、市内中学二年生の「大人に言われてうれしかった言葉」を集め、庁内に掲示。概要を説明。
--------	--

【令和 6 年度の取り組み】

こども家庭センター創設の背景や業務概要について説明。

1. こども家庭センターの設置・運営

- ①職員の体制の強化
- ②サポートプランの作成・評価等
- ③合同ケース会議の実施
- ④研修体制の強化
- ⑤家庭支援事業の実施

2. 児童虐待防止等を推進するための取り組み

- ①社会資源の開拓と協働
- ②対応指針に基づいた取り組み

【副会長】

「大人に言われてうれしかった言葉」について、市役所に掲示したとのことだが、今後これを広く伝えていく展望はあるか。

【事務局】

保護者との面談の中でアドバイスとして活用するほか、中学校区ごとの地域保健連絡会にて、関係各所にも広めていく。

【渡邊委員】

日頃、注意する意味でネガティブな言葉を無意識のうちに掛けてしまいがちである。このようなポジティブな声掛けが、こどもが嬉しい言葉であると大人に周知することは非常に良い取り組みだと思った。

【高橋委員】

ほめて伸ばす子育てトレーニング講座は、どのような方を対象に開催しているのか。

【事務局】

市では、ほめて伸ばすトレーニング講座のトレーナーの養成、フォローアップ研修を実施している。トレーナーは、地域のこどもセンターや気軽に遊びに来られる場所で、子育てに行き詰まっている方、こどもへの関わり方がわからない方に向けて講座を実施している。主に、乳幼児を対象とした保護者の方に向けて行っている。

【渡邊委員】

ほめて伸ばす子育てトレーニングの基になっているプログラム等はあるのか。

【事務局】

神戸少年の家の野口先生のプログラムを基にしている。

【渡邊委員】

それならペアレントトレーニングをベースとして構成していると思われるが、来年度以降の親子関係形成支援事業とどう絡めて実施していくか等計画はあるか。

【事務局】

親子関係形成支援事業については、ここ数年団体と共催で実施している、MY TREE ペアレンツプログラムの効果が実感できることから、来年度以降正式な事業として取り組む予定である。こちらは申し込みによる特定の方々を対象にしており、年 13 回程度、グループワークを中心に悩みやうまくいかなかったことを共有する形式をとる予定。ほめて伸ばす子育てトレーニングはオープンな形式をとっているため、そちらは虐待の未然防止。親子関係形成支援事業は再発防止と位置づけ、二本立てで進行する予定である。

- (4) 令和 6 年度ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会について
現在 2 つの案が出ている。これらはあくまで事務局の案のため、委員の皆様からのご提案もいただけたらと考えている。

①虐待サバイバーが考える支援を知る

児童虐待を受けて育ち、大人になった虐待サバイバーから、こどもの頃必要だった支援や、周りの大人からかけて欲しかった言葉を学び、今後の虐待対応について検討する。

②見えなかったこどもたちを生まないための支援を知る

児童虐待を受けながらも、その虐待を発見されないまま大人になった人たちは多く、一見してわかる体の傷は無くとも、心に深い傷を負っている。そんな大人を生まないための支援に取り組んでいる方から話を伺い、私たちにできることを考える。

【飯塚委員】

自殺者数や貧困家庭数はここ 10 年減少傾向にあるという記事を先日読んだ。これは記者の仮説だが、NPO 法人が活発に活動することにより、コミュニティの力が生まれているのではないかとのことである。コミュニティの力には個人的に注目しているため、このような NPO 法人の代表や、そのような方面で

	他者に刺激を与えている人の講演を行うのは非常に良い取り組みだと思う。 第 4 その他 各委員より感想をいただいた。 【事務局】 次回、代表者会議は令和 6 年 5 月 16 日（木）13 時 30 分から 15 時 30 分。 市役所 5 階会議室 2 で開催予定。 閉会
6 所管課	子育て支援課 電話番号：047－451－1151（内線）468 FAX 番号：047－453－9020